

科目名称：	歴史学	
担当者名：	三浦 哲志	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>中国の著名な歴史書『史記』を取り上げる。『史記』は東アジア文化圏における共通の古典であり、その史料的価値と文学性の高さから日本においても古くから読み継がれてきた。小説化・映像化された著名な人物・エピソードや人口に膾炙した言葉が数多く含まれており、その内容は現代を生きる私たちにも大いに参考になると言える。授業においては、長大な『史記』の中で特に有名な章を扱い、現代語訳で内容確認の後、解説と質疑応答を行う。受講者は、各章に登場する人物や地名についてテキストや配布プリントで確認し、各自で内容の理解に努力するようにしてもらいたい。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>『史記』の成り立ちやあらすじについて理解し、古代中国の風習や現代まで伝わった故事成語を知り、現代文化に与えている影響について理解することを目標とする。</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	90		10		100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 『史記』の概要、著者・司馬遷の人生について学ぶ。	授業内で配布したプリント・資料を読み、小レポートをまとめる。	30分
第2回 「伍子胥列伝」を読む。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第3回 前回に引き続いて読み進め、内容を総括する。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読み、小レポートをまとめる。	30分
第4回 「孫子呉起列伝」を読む	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読み、小レポートをまとめる。	30分
第5回 「刺客列伝」を読む	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第6回 前回に引き続いて読み進め、内容を総括する。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読み、小レポートをまとめる。	30分
第7回 「項羽本紀」を読む。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第8回 映像資料を用いて『史記』を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	30分
第9回 「項羽本紀」を読む。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第10回 映像資料を用いて『史記』を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	30分
第11回 「項羽本紀」を読む。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第12回 映像資料を用いて『史記』を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	30分
第13回 『史記』に関連した映像資料を用いて中国史を理解する。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第14回 『史記』に関連した映像資料を用いて中国史を理解する。	授業内で配布したプリント・資料、指示した作品を読む。	30分
第15回 『史記』に関連した映像資料を用いて中国史を理解する。	DVD視聴による学修成果を小レポートをまとめる。	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、90%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内提出課題10%

課題に対するフィードバック

授業内提出課題は評価して返却する。

教科書・参考書

プリント配布